

おしどり
マコ・ケン
の
実際
どうなの!

第79回

文/
おしどりマコ
Text by OSHIDORI Mako
針金アート・写真/
おしどりケン
Wire art & Photo by OSHIDORI Ken

被ばく労働に補償の切り下げ！ 踏みにじられ続ける 悲痛な農家の叫びを聞いて！

おしどりの取材活動に、
ぜひカンパを!!!
ご祝儀口座はコチラから!
http://oshidori-makoken.com/?page_id=126



© Tsukasa YAJIMA

おしどりまこ・けん

夫婦漫才コンビ。ジャーナリスト。「沖繩・球美の里」理事。福島原発事故以降、政府や東電の記者会見に出席、また現地取材も積極的にこなしている。その模様は、以下で公開中。

おしどりポータルサイト
<http://oshidori-makoken.com/>
おしどりマコ・ケンの「脱ってみる?」マガジン9
<http://www.magazine9.jp/oshidori/>
おしどりケンのワイヤーグラフ誌
http://blogs.yahoo.co.jp/oshidori_ken_blog
ニコニコ動画「おしどりチャンネル」
<http://ch.nicovideo.jp/oshidori>

今回も紛糾した 農民連の政府・東電交渉

12月14日、衆議院第一議員会館で、福島県の農民連の方々の政府・東電交渉がありました。たびたびこの連載で書いているので、毎回同じ要望がはねのけられていることに既視感を覚えるだろうけど、お読みください。

農民連とは農業者で構成される組織で、都道府県単位で設立されています。「農業と農家の経営を守る」というのが目的。福島県農民連は原発事故後、賠償請求に力を入れています。今までの政府・東電交渉では、賠償に関してだけではなく、脱原発や農家の被ばく対策、汚染土壌の再生利用反対、処理水の海洋投棄反対など、様々な問題について年に2回、東京にバス2、3台、100人前後でかけつけて、今までずっと要望し続けてきました。なぜなら、農民連の方々は単なる損害賠償ではなく、原発事故で踏みにじられた「人権の回復」を求めている、自分たちが立ち上がらねばと思っただけから。

福島県農民連の「損害賠償を勝ち取る基本姿勢」にはこう書かれています。

誰かに委任するのではなく、農民ひとりひとりが損害賠償を勝ち取る。基本姿勢1・「委任」では自分だけでなく「損害」を受けたか、いつ、

どれだけの額が支払われるのかが分かりません。損害は、ひとりひとり違います。東電と向き合いながら損害額を確定し、自らが納得し、自己決定します。

2・東電（加害者）が要求する「請求資料」ではなく、被害者が「人権」として被害を認めさせます。すべて個別交渉で詰めます。

3・農産物の被害は「風評被害」ではなく「実害」です。

今回の交渉は、まず原子力損害賠償の改正案についての申し入れから始まりました。改正案には「原子力事業の健全な発達に資することを目的とする」という一文が入っていたのです。これは原発事故被害者が切り捨てられ、加害者の東電が生き残る現状においてこの表現は適切でない、削除してほしい、という要望です。

「何なの、これ? 福島は一顧だにされなかったの?」

今回の原発事故による被害額は21兆円とされていますが、電力会社の損害賠償措置額はこれまでと同額の1200億円。

「全く足りない! 最後は国の税金でしょ? 今後どんな事故があっても、電力会社は守られ、被害者は切り捨てられるってことだよ!」

農家の方々の声が響いていました。